

見た目に似合わず大食漢。最近はいくら食べても何故か太らないらしい。地元の大食いチャレンジは全て制覇している。最近は隣の店にも手を出し始めた。数年前から覚醒はしていたが、簡単なイージーエフェクトしか使えていなかった拳句、そのエフェクトが常時発動するタイプだったため自身は全く気づいていない。

攻撃方法としては黒ずんだ氷を撃ち出し、攻撃が当たった対象のレネゲイドを捕食する。また、戦闘中は彼の周囲の気温がかなり下がる。彼自身は「自動体温」のおかげで特に問題なく活動できる。

能力の使用時はいつもと打って変わって冷酷な一面が現れ、飢餓の衝動を満たそうとする。

なあ、『飢え』って知ってるか？どれだけ強靱な精神や肉体を持っていようが関係なく訪れる衝動。一説によれば数億年前、かつてこの地球の生態系の頂点に君臨していた恐竜でさえソレには耐えられなかった。まあ何が言いたいかっていうと、地球上最初にして最大の飢餓……そのきっかけが…隕石だ。